

沿岸定線観測速報 ちば (2022年5月)

千葉丸：5月5~6, 11~12日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和4年5月16日

黒潮は、房総沖に接岸し、小さく蛇行しながら北東に流れていました(図2)。
水温は、銚子・九十九里海域ではやや高め、外房海域では平年並みでした(表1)。

(詳細)

水温は、水深0~200mの各層ともに、銚子・九十九里海域ではやや高め、外房海域は平年並みで(表1)、岸から沖への水温勾配が顕著でしたが、塩分勾配は見られませんでした。(図3)。

昨年12月~今年4月に、犬吠埼沖の水深250m以深や太東沖の350m以深で見られた低温・低塩分(8℃以下, 34.2以下)の水塊は、犬吠埼沖でのみ確認されました(図5,6)。

海面の流況では、黒潮の北側や流路で北北東~北東方向へ1~4ノットの流れが見られました(図2)。また九十九里沿岸部、東~東北東方向へ1ノット未満の弱い流れが見られました。

クロロフィル濃度は、犬吠埼沖の水深50m、外房沖の水深10mで特に高い値(3μg/L以上)が見られました(図7)。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖では海面から水深50mで前年より1~3℃低めで、水深50~180mでは前年より3~4℃低くなっていました(図8)。銚子沖は欠測でした。

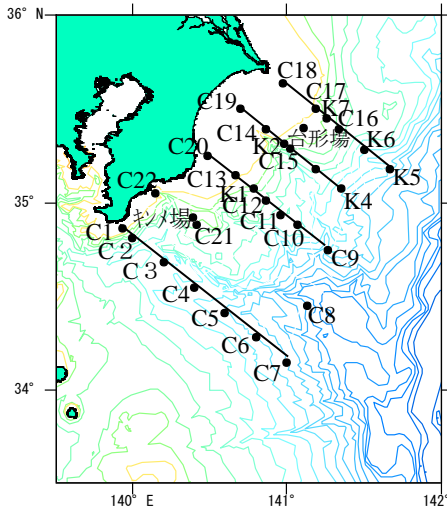


図1 調査点

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼南東線
(台形場欠測)

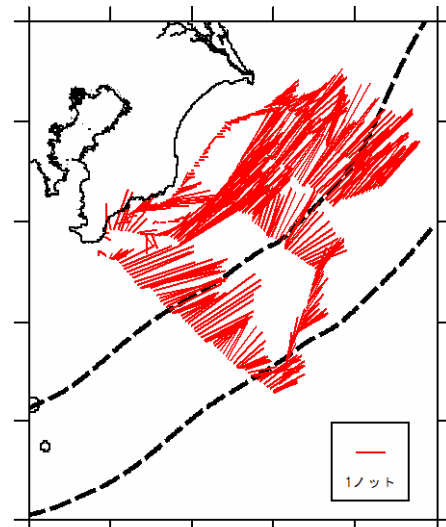


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	20.0 やや高め	18.2 やや高め	17.0 やや高め	15.0 やや高め
外房	19.0 平年並み	16.8 平年並み	15.9 平年並み	13.0 平年並み

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14~20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ~
高め	1.3 σ~2.0 σ
やや高め	0.6 σ~1.3 σ
平年並み	0.0 σ~0.6 σ
平年並み	-0.6 σ~0.0 σ
やや低め	-0.6 σ~-1.3 σ
低め	-1.3 σ~-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ~

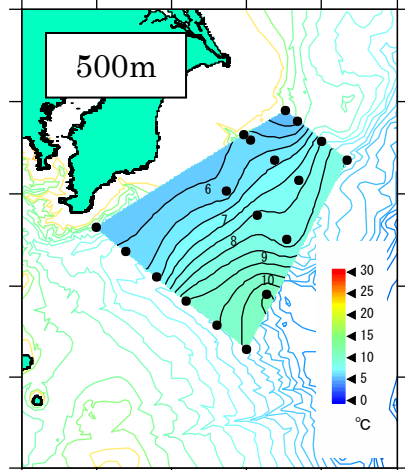
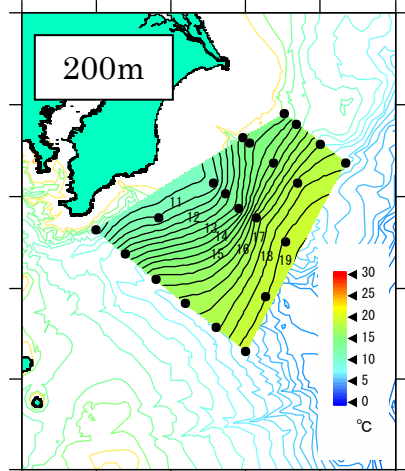
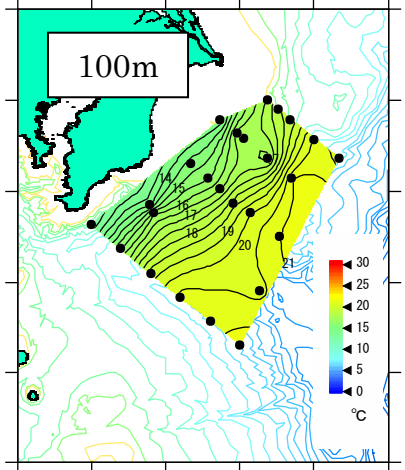
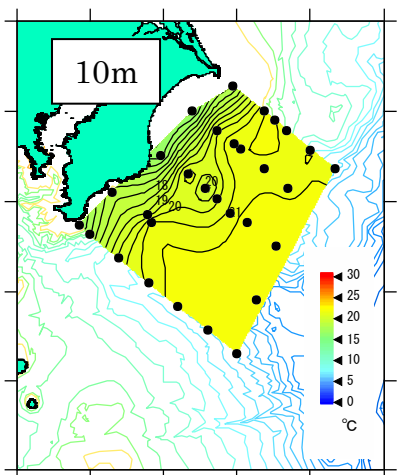


図3 水深別の水温分布

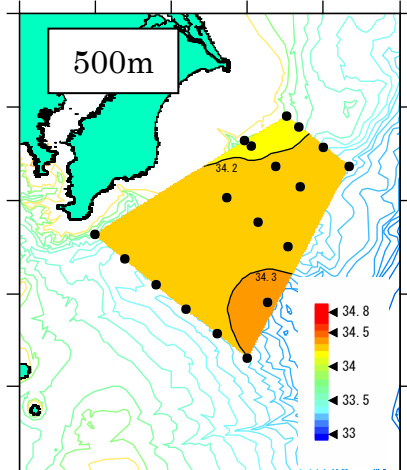
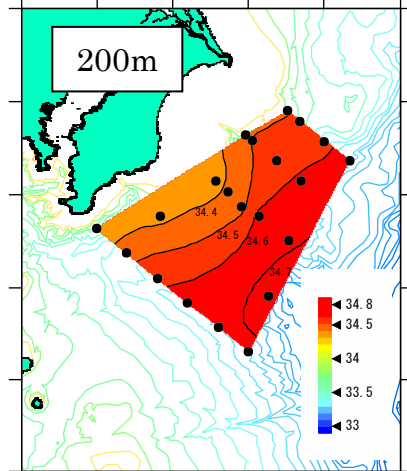
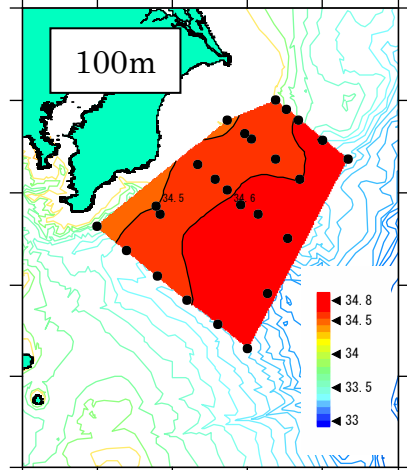
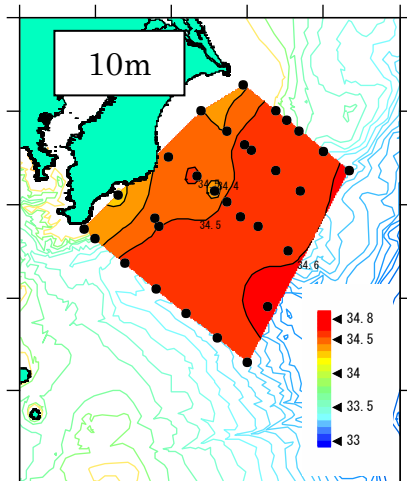


図4 水深別の塩分分布

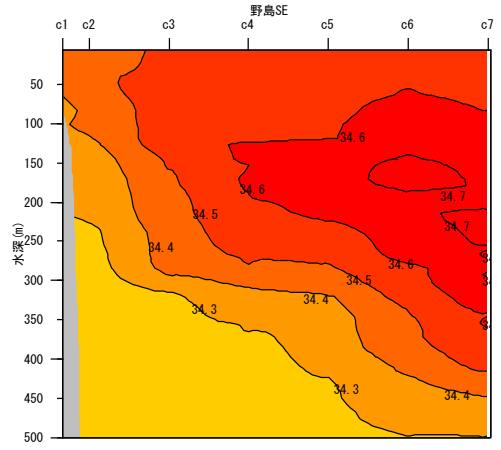
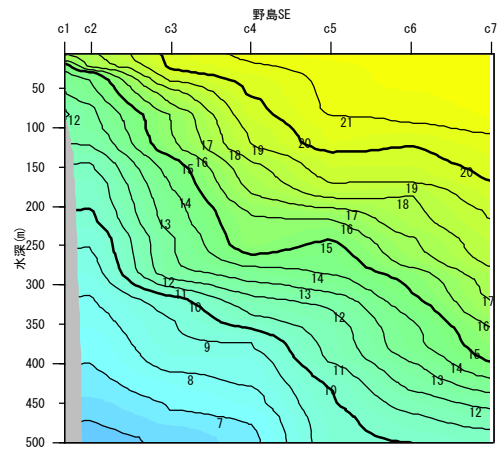
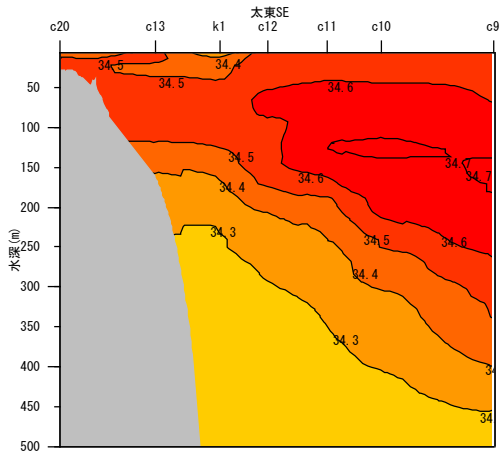
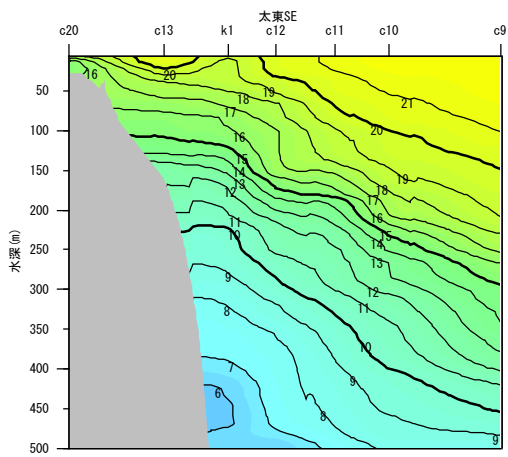
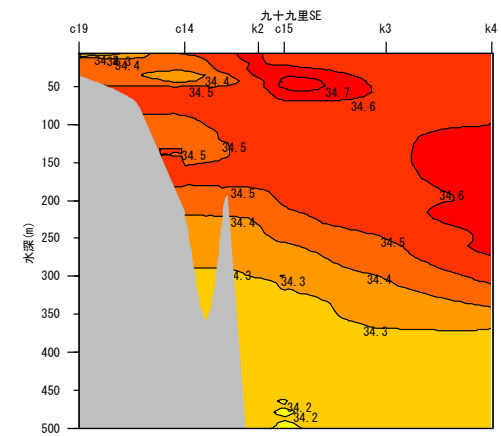
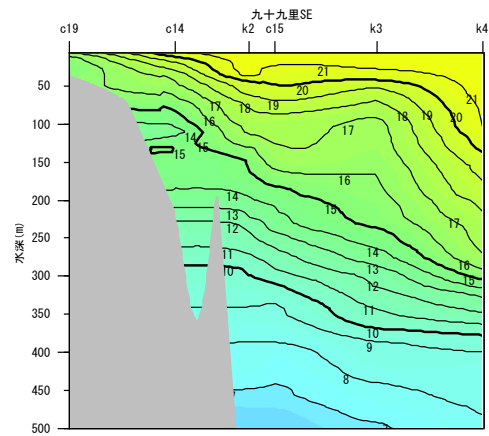
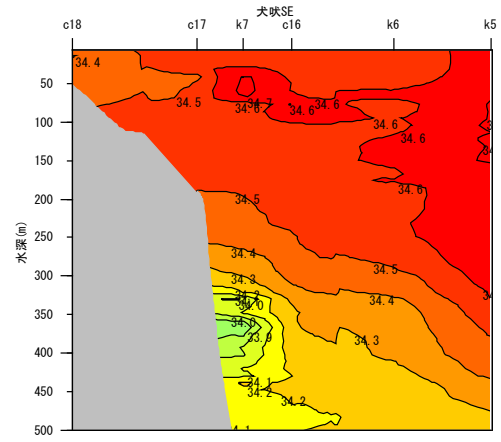
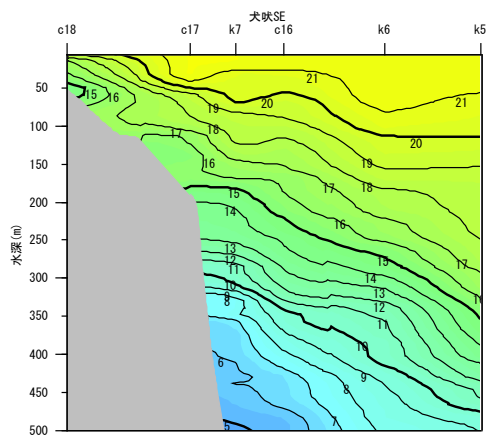


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

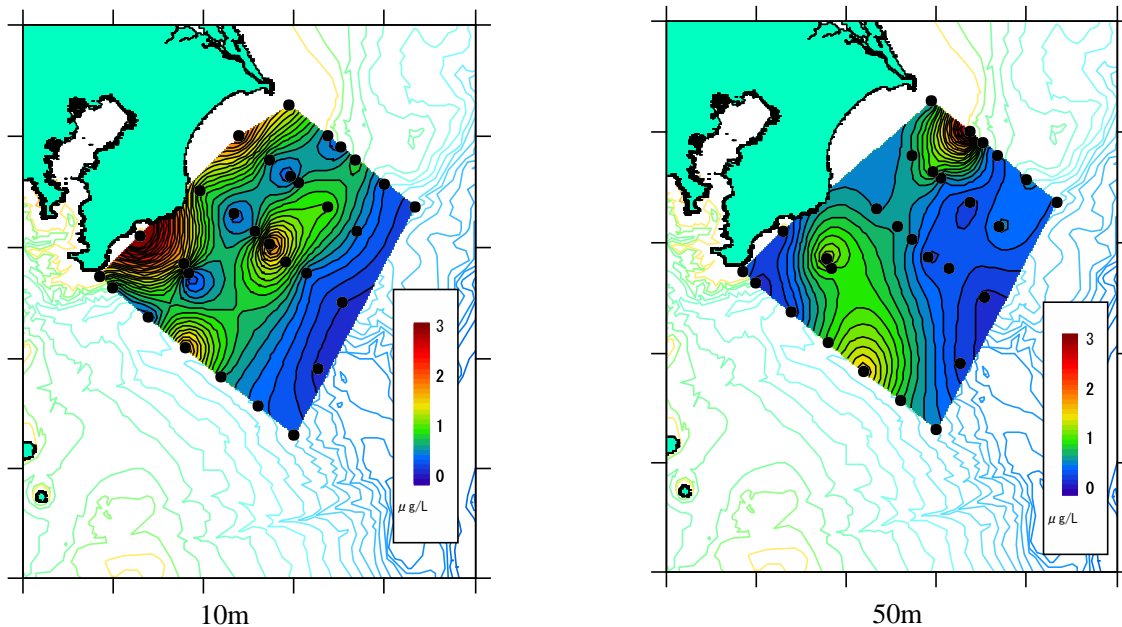
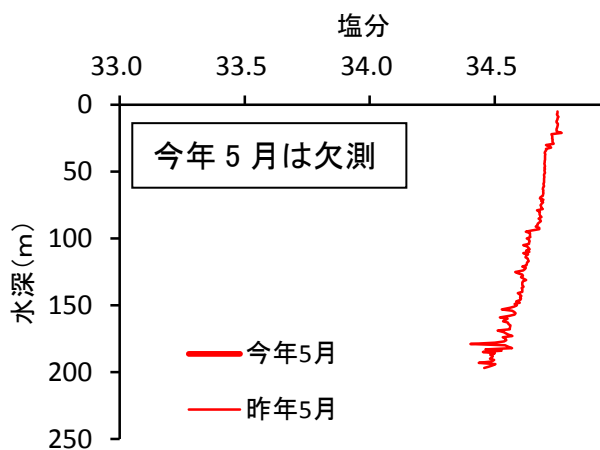
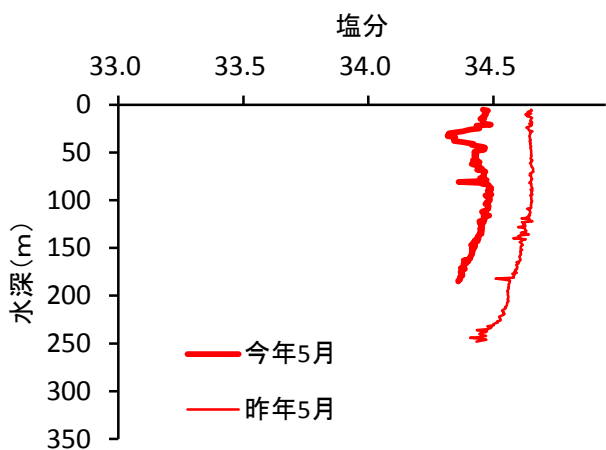
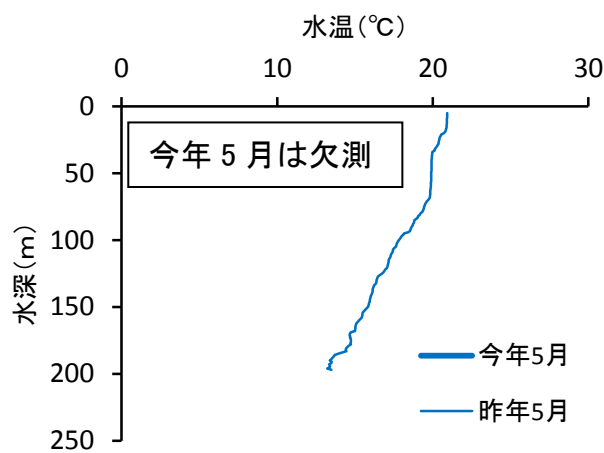
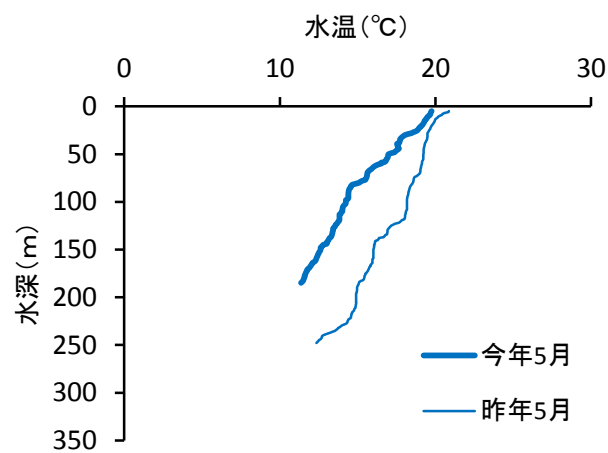


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)